

水環境工学研究室

Water Environment Engineering Laboratory

Staff ▶ 准教授:横田久里子 (Kuriko Yokota)

Key Word ▶

水環境、ノンポイント汚染、畑地、栄養塩

water environment, water quality, diffuse pollution, runoff loading

E-mail ▶ yokota@ace.tut.ac.jp

Web ▶ <http://www.wq.ace.tut.ac.jp>

テーマ1 ▶ 農耕地からの汚染物質の流出解析

Theme1:Runoff analysis of contaminants from agricultural fields

農耕地からは、肥料に由来する窒素・リンや農薬等が流出しており、湖沼や内湾等の閉鎖性水域の流入負荷に占める比率が高いと考えられています。特に、降雨時には、多量の汚染物質が流出しています。降雨時の流出をターゲットとして、農耕地からの汚染物質の流出負荷量や流出の特性を把握・評価するとともに負荷削減対策を考えます。



写真1 降雨時の畑地の様子

テーマ2 ▶ 梅田川の水質形成に関する研究

Theme2:Study on water quality of Umeda river

三河湾東奥部(渥美湾)は、慢性的な富栄養化が進行しており、アサリの稚魚の大量死などの漁業被害が報告されています。原因とされるのは陸域からの過剰な栄養塩の供給とされていますが、その実態はまだ不明な点があります。豊川に次いで大きな河川である梅田川を調査対象として、流域の汚濁特性を把握するとともに、汚濁負荷削減対策について考えます。



写真2 梅田川

テーマ3 ▶ 森林流域における水銀の動態に関する研究

Theme3:Study on water quality of Ure river

2013年10月に締結される『水銀条約』により注目されている“水銀”に関して、国内での環境中の水銀動態については依然不明な点が多いとされています。東三河地域の主要な水源である豊川源流域を調査対象として、森林流域における水銀の動態に関する研究を行い、水銀リスクについて考えます。

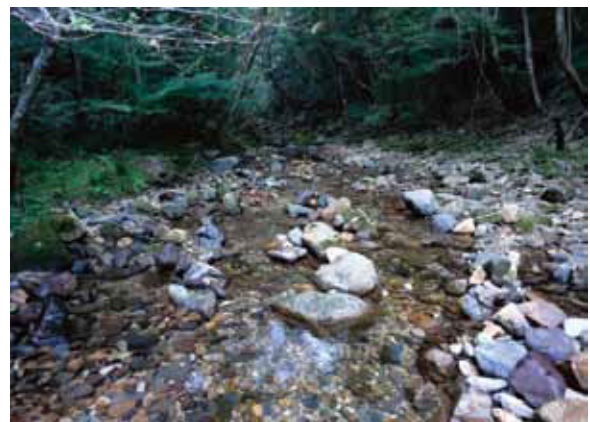


写真3 豊川源流域(宇連川)